

ぐるり39

～自治調査会だより～

2013

12

NO. 003

[発行日]

2013.12.01



【タイトル】公園の夕暮れ 【撮影者】徳田 茂（東村山市） 【撮影場所】武蔵国分寺公園（国分寺市）

- ▶ シリーズ 多摩の魅力発見！ 第5回 2
- ▶ 多摩東京移管 120周年記念シンポジウム 4
- ▶ 多摩地域 DE イルミネーションを楽しもう 5
- ▶ 多摩交流センターだより
 - ・多摩発・遠隔生涯学習講座 7
 - ・東京雑学大学講義案内 7
 - ・TAMA 市民塾 平成 26 年 4 月開講 塾生募集案内 8

- ・TAMA 市民塾・日曜講座のお知らせ 9
- ・TAMA 市民塾シンボルマークの公募について 9
- ▶ お薦めの図書コーナー 10
- ▶ 表紙写真募集のお知らせ 11
- ▶ 編集後記 11
- ▶ とっておき特産物 第 31 回 あきる野市 12

Contents

12月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

シリーズ

多摩の魅力発見!

第5回



多摩地域には、「知る人ぞ知る」というようなたくさんの魅力が隠れています。このシリーズでは、特産品などの製造所や加工所、研究施設など、多摩地域の魅力を発信している地域資源に注目し、地域とのつながりや取り組みなどを取材し紹介していきます。第4回までは、多摩交流センターだより「多摩のかけはし」に掲載してきましたが、この「ぐるり39」においても、引き続き掲載していきます。

今回は、特別に多摩大学（多摩市）の学生さんに、アニメ映画のモデルと言われている地域を取材してもらいました。

耳をすませば 多摩市

1995年に公開された、スタジオジブリ作品のアニメ映画「耳をすませば」の街並みは聖蹟桜ヶ丘が参考となったと言われています。主人公たちが送った青春と自分自身の思い出を重ね合わせながら、きれいな景色と街並みを散策してみませんか。

聖蹟桜ヶ丘駅



■ 駅前に設置してある「青春のポスト」

駅前の交番横には、「耳をすませば」の案内マップやモニュメント「青春のポスト」が設置されています。

ロータリー

ロータリーの先にはノアという洋菓子屋があります。店内には挿入歌とエンディングテーマに使われた「カントリー・ロード」が流れ、バロンも飾られていました。店主の方に「耳をすませばファン?」「どこから来たの?」と気さくに声をかけていただき、耳すま思い出ノートにも



■ ロータリー（映画の中と同じように住宅街の中に存在します）

記入させていただきました。映画が公開されて以来、この地を訪れた、たくさんの方々の耳すま愛に触れることのできるノートです。お土産にロータリークッキー、耳すまサブレなどがおすすめです。

スタンプラリーもあり、のんびり景色を楽しみながら遠足気分で耳をすませばの舞台を満喫することができます。年中楽しめますが、春には桜が咲きお花見にも適しています。

ジブリ・耳をすませばファンなら一度訪れてみてはいかがでしょうか?



■ 洋菓子屋ノアと「耳すま思い出ノート」

TEL : 0423-73-0660

いろは坂

いろは坂には、作中で登場する神社や骨董品店「地球屋」の前のロータリー、図書館などを連想させる場所が多くあります。

作中に登場する神社を連想させる金比羅神社を取材した日には、平日にも関わらずカップルや友達同士、一人で来られた方など5組ほど見受けられました。各々、カメラや携帯電話を持ち景色などを写真に収めていました。

埼玉県から一人で来られた方にお話を伺ったところ、「ずっと訪れてみたいと思っていたので念願が叶った。次に



■ 金比羅神社(恋の運勢を占う恋おみくじもあります)

来るときは、聖司くん（作中に登場する男性）のような彼氏をつくり、一緒に来たい。」とおっしゃっていました。

おおかみこどもの雨と雪 国立市

2012年に上映されたアニメーション映画、「おおかみこどもの雨と雪」。物語序盤で主人公の「花」が暮らしていた街として舞台になったのが国立市です。映画のシーンそのままの、街を流れる独特な空気がとても印象的でした。学生の街、音楽の街、文化の街、アートの街…豊かな自然と文化が共榮し、さまざまな顔を持つ国立の街へ、ご案内しましょう。

大学通り

駅から一橋大学へまっすぐに伸びる大学通りは、まるで物語の世界にいるような欧風の落ち着いた街並みで、個性豊かなお店が立ち並んでいます。学生の名にふさわしいこじんまりとした雰囲気です。



作中でもこの通りを描いたシーンが数多く登場します。

春は満開の桜が咲き乱れ、秋になれば銀杏が黄金色の輝きを放ちます。季節の移ろいをしっとりと感じながら、国立が育んできた豊かな文化をゆっくりと堪能することができます。

COFFEE 白十字CAKE



主人公たちの待ち合わせ場所として描かれた喫茶・白十字。サロンコンサートも開催しています。のほか、ランチメニューのサンドウィッチセットや、国立の風景や街並み、音楽をモチーフにしたお菓子を提供し、国立の憩いの場として親しまれています。

店舗向かいには、2～3人が座ることができるベンチが4つあり、そこで待ち合わせをしたり、読書や音楽を聴くなど自分の時間を楽しむ人が多く見られました。このベンチに座り、国立の街並を眺めてみると、不思議な空気を感じます。

一橋大学 HITOTSUBASHI UNIVERSITY

作中で主人公の「花」が通う「東京の国立大学」のモデルとなった一橋大学。

重厚なヨーロッパ風のキャンパスには、建物のいたるところに怪獣の顔や姿が彫り込まれています。いくつかの建物は国の登録有形文化財にも登録されており、城塞の如くそびえ

立つそれぞれの建物の放つ威厳は、私たちに対し何かを強く訴えかけているかのようです。

秋になると構内は銀杏の葉で黄金色のじゅうたんが敷き詰め



映画のシーンでも印象的だった時計塔。建物の中は図書館になっています。

られるようになり、情緒ある幻想的な風景が広がります。

登録有形文化財の兼松講堂では、音楽コンサートなどの催し物も多く開催されるそうです。

—モノクロの記憶— ロージナ茶房

1953年創業。国立で長く愛されてきたことがよく伝わる、風情ある佇まいの老舗喫茶です。

入った瞬間から広がる昭和のモダンな世界は、まるで自分がそこへタイムスリップしたような気分。適度な喧騒が心地いい店内、料理を待つ自分の手にスマートフォンが握られているのは何とも不思議な感覚でした。

一橋大学の学生も多く訪れ、学生でもお腹いっぱいになるようにと、料理はどれもボリューム満点。

名物のザイカレーを始め、パスタやグラタンなど、多種多様なメニューも魅力です。

料理はとても量が多いため、お子様や女性の方は料理を分け合って食べるのがおすすめです。



昭和のモダンな雰囲気を彷彿させるロージナ茶房前の路地

TEL : 042-575-4074

となりのトトロ 東村山市

1988年に公開された、スタジオジブリ作品のアニメ映画「となりのトトロ」の参考になったとされる地域をぶらりと散歩。メインの街となる東村山市には、緑あふれる魅力的なスポットがたくさんありました。今回はその一部をご紹介します。

はちこくやま 八国山緑地



八国山緑地の入口(映画の登場人物 サツキ・メイ姉妹の家の周辺にある森を連想させる)



八国山の散歩道(メイがトトロを追いかけていく山林の一本道を連想させる)

東村山市にある都立公園の八国山緑地は、ジブリ映画「となりのトトロ」の参考になったとされています。

八国山は標高89.4メートルで、狭山丘陵の東端にあり、頂上からは、上野・下野・常陸・安房・相模・駿河・信濃・甲斐の八国が見渡せることから、その名が付いたとされています。

この映画の中で、女の子メイがト

トロに出会う印象的な一本道や、お母さんを探している途中で迷子になってしまった山林は、この八国山緑地を連想させます。

実際に歩いてみると、かすかに聞こえる鳥の声や、風で草木が揺れる音がとても新鮮で、思わずトトロの主題歌を口ずさんでしまうほど、魅力のあるところです。

この八国山緑地は、幼少時代の記憶が蘇り、自分がメイちゃんになったような気分になれる、特別な場所なのかもしれません。

和菓子処 餅萬

東村山市の名物といえばコレ！

東村山市民絶賛の「だいじょぶだア饅頭」をはじめとする、だいじょぶだアシリーズの和菓子です。

他にも、「だいじょぶだアどら焼き」や「だいじょぶだア最中」など、種類も豊富です。

東村山に行かれたら、是非召し上がってみてください。



和菓子処 餅萬とだいじょぶだアシリーズの和菓子

TEL : 042-391-0003

HP : <http://www.mochiman.co.jp/>

取材を終えて

今回取材をしていただいた多摩大学4年の学生さん達から一言ずつ感想をいただきました。

◎「耳をすませば」(多摩市)

私は元々ジブリ作品が小さい頃から好きだったため、「耳をすませば」も大好きで何度も見てきました。そのモデルともいわれている場所が聖蹟桜ヶ丘にあると聞き、この機会に訪れることができ嬉しかったです。楽しみながら取材することができました。映画で出てきた場所そっくりの所もあり、訪れた後は映画を見返してしまいました。

(横森友里恵)

◎「おおかみこどもの雨と雪」(国立市)

知れば知るほど好きになる。多摩はそんな魅力が溢れる場所です。

私自身、初めて訪れた国立のノスタルジックな街や風景を堪能しながらの取材をととても楽しむことができ、新しい魅力を発見することができたと思います。

これからも、地域のさらなる発展を願いながら、いつかは職員として多摩地域を支えて行きたいです。(小野 大貴)

◎「となりのトトロ」(東村山市)

八国山緑地には、メイちゃんがトトロを追いかけていくシーンと全く同じようなところがあり、とても不思議な感じがしました。

もともと、東村山は緑あふれる街ではありますが、より一層緑で包まれており、本当に映画の中に入ったような感覚になります。

ジブリ好きな方で東村山にお越しの際は、ぜひ足を運んでみてください。

(石土 奈々)



▲左から小野さん、横森さん、石土さん

公益財団法人 東京市町村自治調査会 多摩東京移管120周年記念シンポジウム

予告

たまには多摩の話を ~知れば知るほど好きになる~

日時 平成26年2月3日(月) 午後1時30分~ 会場 小金井市民交流センター(東京都小金井市本町6-14-45)

※申込み・詳細等につきましては、「ぐるり39」2014年1月号、及び自治調査会ホームページ(近日中に掲載予定)をご覧ください。

寒い冬をキレイな光で乗り越えよう

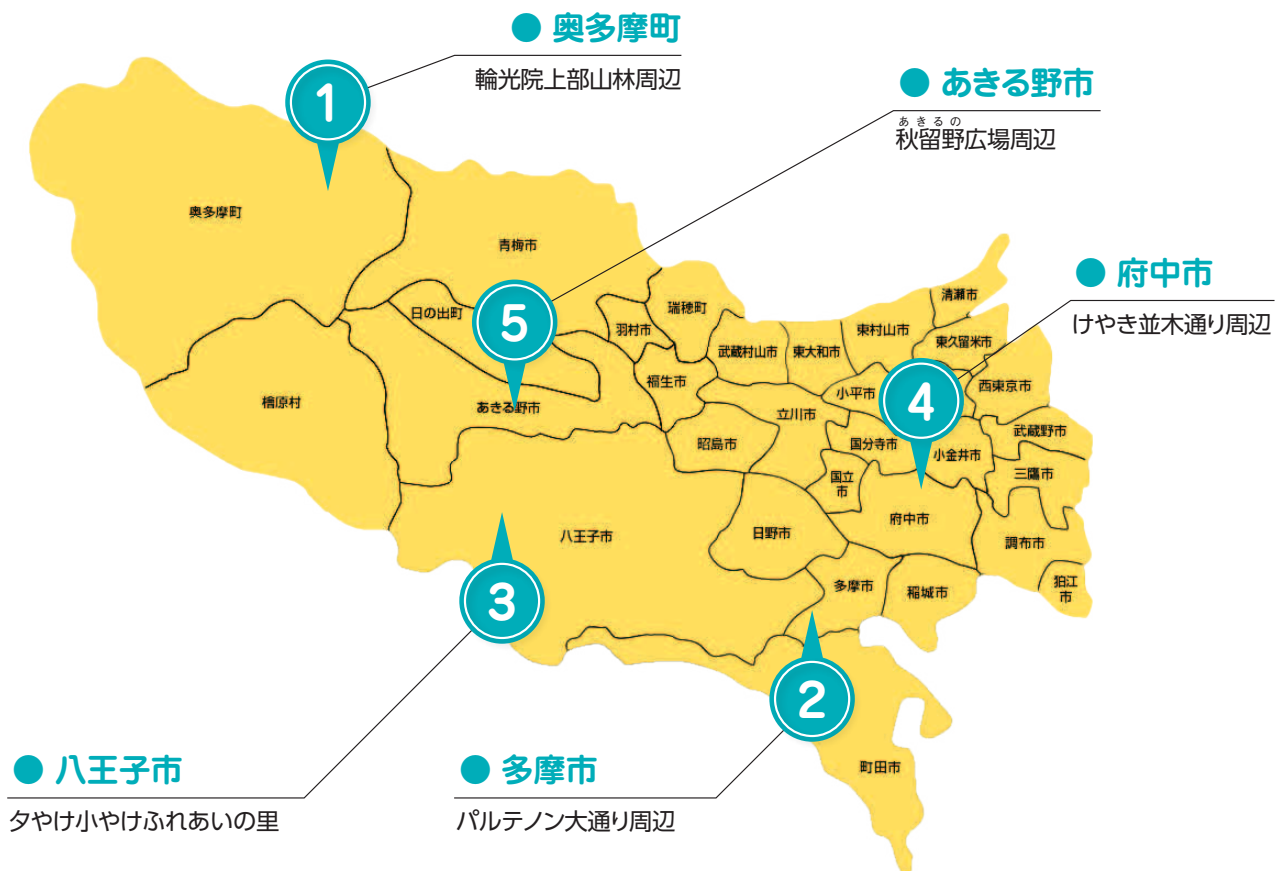
多摩地域DE イルミネーションを楽しもう



これからの季節、街中にはイルミネーションがあふれ、冷たく空気の澄んだ夜には、キラキラ輝くイルミネーションが一層きれいに見えます。

今回は、多摩地域のイルミネーションスポットをいくつか紹介します。家族や友達でワイワイと、恋人と一緒にロマンチックに、通勤・通学帰りの癒しになどなど。多摩地域のイルミネーションをお楽しみください。

★多摩地域イルミネーションスポットMAP★



写真提供：大丹波イルミネーション実行委員会



● 奥多摩町

輪光院上部山林周辺

1 奥多摩大丹波 イルミネーション2013

奥多摩の雄大な自然の中に、壮大なツリーが出現します。森林に巨大イルミネーションが設置されるほか、地域の家庭にもイルミネーションを点灯します。

【開催期間】 12月1日(日)～平成26年1月5日(日) 午後6時～10時

(各家庭のイルミネーションは、12月25日(水)まで)

※車道が狭いため、車で来場の場合は、午後7時以降にご覧ください。

【URL】 奥多摩大丹波イルミネーション2013 オフィシャルサイト

<http://ohtabaturiba.com/illumi/>





2

● 多摩市

パルテノン大通り周辺

多摩センター イルミネーション2013

今年で13回目を迎える多摩センターイルミネーション。パルテノン大通り周辺は、約40万球のイルミネーションで飾られます。子どもたちに人気のサンリオキャラクターのイルミネーションもあります。

【開催期間】 11月9日(土)～平成26年1月7日(火) 午後4時30分～10時
(一部イルミネーションは、12月25日(水)まで。サンリオキャラクターイルミネーションは午後9時30分まで)

【URL】 多摩センターイルミネーション2013 公式ホームページ
<http://www.tamacenter-cm.com/illumi/>

写真提供：多摩市広報広聴課

3

● 八王子市 タヤけ小やけふれあいの里

タヤけ小やけふれあいの里 クリスマスイルミネーション

8メートルの高さにもなる大きなツリーなど、約8万球のイルミネーションが施設を綺麗に彩ります。

【開催期間】 11月30日(土)～12月25日(水) 午後6時～9時
※イベント開催期間中、午後6時から9時の間は、タヤけ小やけふれあいの里への入園は無料となります。

【URL】 八王子市ホームページ内
<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kanko/event/027139.html>



写真提供：八王子市観光課

4

● 府中市

けやき並木通り周辺

けやき並木 イルミネーション

府中市のシンボルともいえるけやき並木に、色とりどりのイルミネーションが輝きます。市民の憩いの場として親しまれているけやき並木ですが、この時期には、一味違った姿を見ることができます。

【開催期間】 11月14日(木)～12月25日(水)
午後4時30分～午前0時

【URL】 府中市ホームページ内 <http://www.city.fuchu.tokyo.jp/tanoshimu/ibento/kurashi/illumination/index.html>



写真提供：府中市経済観光課

5

● あきる野市

あきる野の
秋留野広場周辺

Akiruno Winter Festival 2013

秋川駅北口ロータリーやマールポロウ通り、秋留野広場などがイルミネーションで飾られます。市内保育園や幼稚園の園児によるイルミネーションの作品もあります。

【開催期間】 11月30日(土)～12月27日(金) 午後4時30分～午前0時
(園児の作品は、12月25日(水)まで)



写真提供：あきる野市観光商工課

※掲載写真は、いずれも過去のイルミネーション実施時の様子です。

※平成25年11月1日現在の情報です。開催期間などは変更となる場合があります。事前に、お問い合わせいただくか、ホームページなどでご確認ください。



多摩交流センターだより

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会



12月・1月予定の講座案内

118回

日時 12月12日(木) 午後2時30分から約1時間
題名 正しい設計を考える
～ジェットエンジン設計・開発の経験から
講師 勝又 一郎 氏
(日本経済大学大学院特任教授、その場考学研究所代表)
内容 21世紀に入って、予想もしなかった事故が多数起きています。点検整備が不十分だったこと、設計では想定しなかったことなどが主な原因であるといわれています。この問題に対する答えを、私の40年間にわたるジェットエンジンの設計と開発から得られた経験と、その後に始めたメタエンジニアリングという思考法から考えてみる。

119回

日時 平成26年1月9日(木) 午後2時30分から約1時間
題名 フィルムからデジタルへ～映画は変わるのか
講師 島倉 繁夫 氏
(メディアプランナー、映像制作(演出))
内容 映画が、フィルム(アナログ)の時代からデジタルの時代へと変わりつつあります。映画自体、時代の最先端技術を真っ先に取り込んで進化してきた事実を見れば、驚くには当たりません。映画の進化を促進させたのは極めて素朴な人々の願望であり、技術の進化がそれを拡大してきたことを考えると、デジタル映画の時代も期待できそうです。

- 受講料** 無料(ただし資料代として100円)
- サテライト会場** 武蔵野市かたらいの道
- 講座場所** 多摩交流センター 第2会議室(申し込みは必要ありません。直接会場にお越しください)
- ライブ中継・VOD視聴について**

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座視聴(ライブ中継)、過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先：TEL 080-3427-9848(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

1月講義案内

(会員は受講料無料・会員外は1月9日を除き、1回につき500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第920回	1月9日(木) 午後2時30分から	フィルムからデジタルへ ～映画は変わるのか	島倉 繁夫 氏 (メディアプランナー・映像制作(演出))	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 北へ徒歩3分)
第921回	1月12日(日) 午後2時から	私の日本人論 ～外交官・政治家としてみてきた	末松 義規 氏 (元外交官・元衆議院議員)	コール田無 (西武新宿線田無駅北口 北東へ徒歩7分)
第922回	1月23日(木) 午後2時から	江戸城吹上絵図をめぐる	松尾 美恵子 氏 (地方史研究協議会会長・学習院女子大学名誉教授)	柳沢公民館 (西武新宿線西武柳沢駅南口 徒歩1分)
第923回	1月30日(木) 午後2時から	徐福東渡出航地と到達地について	田島 孝子 氏 (神奈川県日中友好協会理事・神奈川県徐福研究会代表)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)

☆申し込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

[詳細問合せ先] TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原)

多摩 30 市町村対象

TAMA市民塾

平成26年
4月開講

塾生募集案内

【募集期間 12月1日(日)～平成26年1月20日(月)】

公募による講師と市民の発想・企画・運営による新しい生涯学習(楽習)のステージ『TAMA市民塾』。平成26年4月期から、新たに6ヶ月(6回・12回)講座をスタートさせることとなりました。ユニークで楽しさあふれる講座を用意しております。

○開講期間 【6ヶ月コース】平成26年4月～平成26年9月

○会場 多摩交流センター(京王線府中駅北口徒歩3分) ○共催 TAMA市民塾・公益財団法人東京市町村自治調査会

No.	講座名 講師名	講座内容	回数・曜日 時間・定員
1	気功…今、 自分でする 自分の為の 健康法 阿部 章夫	気功は身体、呼吸、心のバランスを整えるセルフケアです。易しい体ほぐし、伝統功法で気血の流れを高め、ストレスの解消を図ります。見様見真似で始められます。それが健康モードへの切り替えの出発点。練功で日常モードから気功モードにシフトしていきます。終わった後のほのぼのした湯上り感を味わってみませんか。	6ヶ月コース 毎月2回・全12回 第2・4水曜日 (第1回は4/9) 10:00～12:00 (26名)
2	0から始める 古武術介護と 護身術 伊藤 烈	現代の日本人の身体の動かし方は主に欧米的な筋力を中心としたものと言われています。一方、古武術の動きは筋力に頼らず動きの質的な転換によって効率良い動きを目指すことが特徴です。古武術の無理のない動きを、高齢化していく社会の中で、これからの介護する側、される側となった時、無理のない対応に活かされるようアレンジしたものです。又、護身術にも応用されています。	6ヶ月コース 毎月1回・全6回 第4水曜日 (第1回は4/23) 18:30～20:30 (26名)
3	ナチュラル ガーデニング をはじめて みましょう 伊藤 智枝子	鑑賞するだけの庭ではなく、暮らしを楽しむための、自分で植える花を選び、作る、世話をする…を楽しむナチュラルガーデン。薔薇、宿根草、ハーブ、虫、鳥、土、香り、等様々な要素の基礎を学び、ガーデニングをはじめましょう。初心者のための、バラを中心としたオーガニックガーデニング入門とベランダガーデンの実習です。(教材費実費 2,500円位 交通費・入園料は各自負担)	6ヶ月コース 毎月2回・全12回 第1・3木曜日 (第1回は4/3) 14:00～16:00 (26名)
4	音で楽しむ 中国語 李 秀雲	初心者と上級者が同時に楽しめる講座です。音というキーワードで、短時間に綺麗な発音を身につけられるように特訓し、特に、日本人が苦手な音をクリアするコツを教えます。そして、芸術の感覚で漢詩や童話を中国語で朗読し、歌を通して中国語の音と韻の美しさを一緒に楽しみましょう。	6ヶ月コース 毎月2回・全12回 第2・4木曜日 (第1回は4/10) 10:00～12:00 (32名)
5	植物の学名を 知って、 植物に親しむ 田中 學	リンネによって提唱・実践された二名法による学名表記は現在も引き継がれています。学名は世界共通の学術公用語で、地球上の全ての生き物の命名にその命名法は適用されるものです。スライド投影により植物学名の実例を挙げて、その表記法と意味を解いていきます。野外観察会も加え、植物学名への理解を楽しく深めます。(交通費・入園料は各自負担。)	6ヶ月コース 毎月2回・全12回 第2・4金曜日 (第1回は4/11) 14:00～16:00 (26名)
6	香りの楽しみ ～アロマ& ハーブ 渡部 郁子	アロマセラピーのいろいろな活用法を楽しく学べる初心者向けのクラスです。香りの源である精油の選び方や使い方を、座学+アロマグッズ作りの実習で身に付けていきます。また、原料植物の特徴や産地についても理解を深めます。植物の恵みを実感しながら、香りの世界を広げていきましょう。(教材費3,000円)	6ヶ月コース 毎月1回・全6回 第2金曜日 (第1回は4/11) 10:00～12:00 (26名)

- **申込資格** 多摩地域30市町村に在住・在勤・在学の方が対象です。(開講時に本人確認のため身分証明書をご提示頂くこともあります。)
- **申込方法** 記入例を参考に通常はがきでお申し込みください。
 - ・はがき1枚に1講座名を記入(2講座以上の記入は全て無効)
 - ・1人で2講座までです(3講座以上の申し込みは全て無効)
- **申込期間** 12月1日(日)～平成26年1月20日(月)
 - ＜消印有効＞
 - ・応募者が定員を超えた場合は抽選になります。
 - ・抽選結果は、平成26年2月1日(土)に当選者のみ封書で発送致します。
 - ・募集締切後、定員に満たない場合は、追加募集を致します。

詳しくは自治調査会ホームページ及び多摩交流センター内で見ることができます。
- **申込先** 〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階 多摩交流センター内「TAMA市民塾」
- **問合せ先** TEL 042-335-0111 (月～金の9時～17時)
Eメール tama_shimin_juku@true.ocn.ne.jp

- **受講料** 全6回の講座 3,000円 全12回の講座 6,000円 (教材費が別途必要な講座もあります。)
 - ・期日までに受講料を払込みください。払込方法については抽選結果の中でお知らせ致します。
- 払込期限** 2月20日(木)
 - ・払込まれた受講料は理由を問わず返金致しません。(払込期限が過ぎた場合は失効)
- **その他**
 - ・応募者が15名以下の場合、開講しないことがあります。
 - ・講座のカリキュラムや参考資料(作品写真)などは多摩交流センターで見ることができます。
 - ・保育施設はありません。
 - ・駐車場はありませんので車での来所はご遠慮ください。
 - ・ご応募いただく個人情報は、当該講座に関するのみに使用致します。

はがき記入例	<input type="text" value="1"/> <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="5"/> <input type="text" value="6"/>	1 講座No. 2 講座名 3 氏名(ふりがな) 4 〒・住所 5 電話番号 6 年齢・性別
	府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階 多摩交流センター内 「TAMA市民塾」	

TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ

第96回 鎌倉武士たちの「源氏物語」～実は、雅だった鎌倉！～

【講師】 織田 百合子 氏

東京写真短期大学(現東京工芸大学)卒業。羽田空港写真部にてカメラマン勤務。遺跡発掘調査に従事し歴史を学ぶ中で、鎌倉の武士たちが熱心に「源氏物語」を愛好していた事実に突き当たる。早稲田文学新人賞受賞。著書「源氏物語と鎌倉」他。現在、鎌倉を中心に講演活動中。

【内容】 《武士の都鎌倉》といわれた鎌倉には武士の文化しかないように思われていますが、実は鎌倉では雅な王朝文化の最高峰「源氏物語」も盛んに愛好されていました。それは、源光行という平家に仕えていた一人の人物が、源平の争乱で平家が滅びた為に鎌倉に下向したことによります。光行は王朝文化の具現といわれる平家文化の粋を知った人です。そういう光行と子息の親行は、親子二代にわたって鎌倉幕府や将軍家に仕え、その交流の中で「源氏物語」を鎌倉武士たちに広めたのでした。

日時 平成26年1月19日(日) 午後 2時～4時	申込方法 当日会場にお越しください。先着50名までとさせていただきます。
場所 多摩交流センター会議室(府中市寿町1-5-1) 京王線府中駅北口徒歩3分 府中駅北第2庁舎6階	受講料 無料
	問合せ先 多摩交流センター内 TAMA市民塾 TEL 042-335-0111

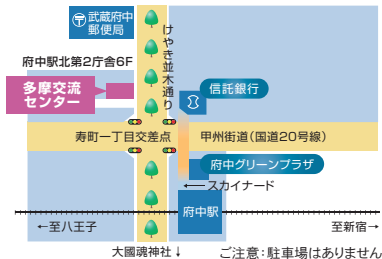
TAMA市民塾シンボルマークの公募について

TAMA市民塾では平成27年10月に、創立20周年を迎えます。このことを記念して、シンボルマークを作ることになりました。つきましては、このマークを公募します。詳細は、多摩交流センターでお配りするチラシ又は自治調査会ホームページ(<http://www.tama-100.or.jp/>)をご覧ください。皆様の力作をお待ちしています。

「多摩交流センターだより」の問合せ先

(公財) 東京市町村自治調査会多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階
 TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127 Eメール tama001@tama-100.or.jp
 ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>



☆ **多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。**

お薦めの図書コーナー



1 里山資本主義

—日本経済は「安心の原理」で動く

藻谷浩介・NHK広島取材班の共著 角川ONEテーマ21

- 少し前ですが、「わが意を得たり」と感じたのが本書です。
- 「経済を動かしているのは、景気の波ではなく人口の波、つまり生産年齢人口＝現役世代の数の増減」と問題提起して大反響を呼んだ「デフレの正体」が3年前。その「おわりに」で「多様な個性のコンパクトシティたちと美しい田園が織りなす日本」を提起した藻谷浩介氏は、前著を発展させた本書では、今後の日本経済は「安心の原理」で動くと主張します。地方における人と人との絆、自然とのつながりを重視し、水や食料、燃料など身近な山村に眠る資源を活かし、お金もなるべく地域で回すことで、地域を豊かにすることを提唱するのです。そのキーワードとなるのが「里山資本主義」。
 つい数十年前まで「人間が手を入れてきた休眠資産を再利用することで、原価0円からの経済再生、コミュニティ復活を果たす」と訴えています。
- 著者らは、便利な都会暮らしを捨て、昔ながらの田舎暮らしをしなさいというわけではありません。リーマンショックで明らかになったマネー資本主義の生む歪みを補うサブシステム、天災などの非常時のバックアップシステムが里山資本主義であるというのです。
- 中国山地で行われている木くずを原料とする「木質バイオマス発電」や燃焼効率がよく簡単に作れる「エコストーブ」、オーストリアの木造高層建築物などの成功事例を紹介しながら、都会のスマートシティと地方の里山資本主義が車の両輪となり、人口減少、無縁社会、エネルギー・食の自給、国際競争を生み出す産業育成などの様々な課題を解決すると述べます。それが最終的には安全保障と地域経済の自立をもたらし、不安・不満・不信のスパイラルを乗り越え、安心安全のネットワークが未来を切り拓くと展望します。
- 多摩・島しょ地域活性化のヒント満載。



2 自治体のエネルギー戦略 —アメリカと東京

大野輝之著 岩波新書

- 東京都は2008年に我が国初の「温室効果ガス総量削減義務と排出量取引制度」を導入しました。削減義務は、既に2010年4月から開始されています(目標:2014年度までの5年間でオフィスなど業務部門には8%(地域冷暖房等を多く使用している事業所には6%)、工場など産業部門には6%、全体としては6%の総量削減義務率、2019年度まででは全体として2010年度比約17%の総量削減義務率)。排出量取引制度では、大規模事業所間の取引に加え、削減実績の認定量(「オフセットクレジット」と呼ばれ、「都内中小クレジット」、「再エネクレジット」、「都外クレジット」があります。)を活用できます。対象事業所は、自らの削減対策に加え、排出量取引での削減量の調達により、経済合理的に対策を推進することができる仕組みとなっているのです。
- オフィスビル等をも対象とする世界初の都市型キャップ&トレード制度はどうして実現できたのでしょうか。その過程を前東京都環境局長が具体的に述べます。
 まず、アメリカの州・市の政府が取り組んできた斬新なエネルギー政策形成の過程(施策や制度の導入プロセス)をリアルに紹介します。
- 次に、我が国においてキャップ&トレード制度の導入を拒もうとする一部の産業界や中央官僚OBが作る「壁」を、4つの力で崩していった過程をいきいきと描きます。その4つとは、①誤謬(ごびやう)を正す政策論争の徹底、②地域に適した実効性のある仕組みの構築、③知と信頼のネットワークの形成、そして究極の力としての④スタッフ集団の力の蓄積。
- この制度導入の成功は、中央政府の状況にかかわらず、地域の多くの主体の共同により、強力な施策を実現することが可能という教訓を導き出しています。
- 困難な取組みに果敢にチャレンジする者に、大きな示唆と勇気を与える一書といえましょう。



表紙写真募集のお知らせ



～「ぐるり39～自治調査会だより～」表紙写真を募集します!～

「ぐるり39～自治調査会だより～」をご愛読いただきありがとうございます。

皆さまに機関紙をより身近な存在と感じていただくため、表紙を飾る写真の募集を行っています。「私の好きな多摩・島しょの風景、催事、街など」をテーマとし、多摩・島しょ地域の魅力あふれる自然や伝統あるお祭り、伝えていきたい街並み、などを撮影した写真をお寄せください。

応募いただいた中から、平成27年3月号までの機関紙の表紙に掲載させていただきます。

詳細については、自治調査会ホームページ (<http://www.tama-100.or.jp/>) または、多摩交流センター窓口で配布している「ぐるり39～自治調査会だより～」表紙写真応募要領でご確認ください。皆さまの応募を心からお待ちしております。



編集後記

- 過日、シティプロモーションに関する講演を聞く機会があった。シティプロモーションとは、簡単に言ってしまうと、『地域の魅力を発信し、選ばれる「まち」にしていくための取組』といった感じだろうか。
- その講師の方が言うには、最近、B級グルメ、ゆるキャラ、映画等の口ケ誘致など、各地域で様々な取り組みが行われているが、他もやっているからと、ただ飛び付くというのではダメで、それらが、その地域の「文化」になっていなければ意味がないとのこと。すなわち、そこに住む地域住民が生活の一部として享受しているようなものでなければ、単なる一過性のもので終わってしまうと。「ああ、なるほど」と思わせる。
- まずは外ではなく内に目を向けることが大切なのだろう。地域住民が楽しんでこそ、その地域が豊かになる。地域住民そっちのけでいくらPRしても、それは砂上の楼閣に帰してしまう、ということなのであろう。地域住民がまずその地域の魅力に気付いて、その「まち」を愛するところからすべてが始まる、そんなところだろうか。
- 「まち」を愛するということ、思い出すことがある。『世界ふれあい街歩き』という、世界各地のまちを紹介するNHKの番組がある。特にヨーロッパのまちが好きでよく見ているのだが、歴史と伝統を大事にするヨーロッパのまちはとても美しく、古い建物や石畳の通り、老若男女が集う広場やオープンカフェ、これらすべてが心を安らかにしてくれる。そして、どのまちに行っても、そのまちの人々が口を揃えて言うのは、「こんな素敵なおところは無い、ここは世界一のまちだよ」ということ。みんなが自分のまちを愛している。何と素晴らしいことか。そして、そういうまちに限って観光客も多いのだ。きっと地域活性化の原点は、こういうところにあるのだろう。
- 地域の魅力を知るという意味では、まずその地域の歴史を学ぶことも重要であるにちがいない。今年、多摩地域が神奈川県から東京に移管されて、ちょうど120周年に当たる。これを記念して様々なイベントが行われているが、当調査会でも年明けの2月に多摩の魅力を再発見するシンポジウムを開催するほか、これに合わせて、明治期以降の多摩の歴史を概観する冊子を発行する予定である。ご期待いただきたい。

(K.A.)

とっておき特産物

第31回 あきる野市



ぐんどうがみ 軍道紙

軍道紙は、東京の旧乙津村（現あきる野市乙津）で江戸時代の初期頃より生産されてきたと言い伝えられている日本伝統の和紙です。

楮^{こうぞ}を原料にして漉^すかれ、トロロアオイの根をつぶして得た粘液を混ぜて作られます。引き裂いても切れないほど強く丈夫な和紙で、生活の中の様々な場面で使われてきました。

秋川牛

秋川牛は、多くの自然が残る菅生の牧場で、松坂牛や米沢牛と同じ岩手県産の仔牛を、20か月もの間、手塩にかけて育てた黒毛和牛です。

東京都産だからこそ、新鮮なうちに食卓にお届けすることができるので、さっぱりとしていてしつこくない、清々しい肉質でありながら、柔らかくて味わいも深い肉質と評判です。



のらぼう菜

のらぼう菜は、江戸時代から五日市地区で栽培されてきた特産物です。無農薬栽培でビタミンも豊富。収穫は2月～4月に行われ、直売所や店先に並びます。

癖が無く茎まで柔らかいので、胡麻和えやおひたしなど、シンプルな味付けのものに最適です。また、加工品の『のらぼうそば』や『のらぼううどん』もあります。

記事、写真提供：あきる野市市長公室

☎042-558-1111（代表）